

～安心・安全なNAGOYAをめざそう～

KOMEI NAGOYA NEWS

公明党
名古屋市議団ニュース

vol.
96

【発行者】

公明党名古屋市委員団

名古屋市中区三の丸三丁目1-1市役所公明党控室

TEL052-972-2051 FAX052-972-4189



なごやか中学校 (夜間中学)を視察！

様々な理由で義務教育を終了できなかった方のために！

公明党市議団は令和7年5月9日、名古屋市立なごやか中学校(夜間中学)の視察を行いました。授業の様子を視察し、学校生活の流れなどについて説明を受けました。

夜間中学は様々な理由によって義務教育を終了できなかった方のための学校です。

平成28年9月定例会において夜間中学の設置について質問を行い、その後も様々な場面において粘り強く要望し、今年4月に開校しました。満15歳以上であれば、国籍関係なく入学することができます。

35名(9か国)の方が入学され、教科によつてはコース別の授業を行い、タブレット端末を使って行う授業もあります。日本語が不安な方については支援を受けることもできます。今後、生徒への支援体制を強化していきたいとのことでした。

今後も市議団は学びたい方が安心して学ぶことができる環境作りに努めてまいります。

5月臨時会

5月臨時会では、常任・特別委員会の委員や組合議会議員などの市会の新しい構成が決まりました4面に各議員の所属委員会を記載。また、第109代副議長には公明党のさわた見一市議が選任されました。

ごあいさつ

本市では昨年、市長が交代し、新たな市政運営がスタートしました。私たち公明党市議団は、「市民の命と暮らしを守ることを何よりも優先し、新体制においても、建設的な提案を重ねてまいります。」

市民の皆さまの中には、日々の生活の中で、困難や不安を抱えている方も少なくありません。

そうした一つ一つの声に真摯に耳を傾け、現場の課題に即した政策提案を行うことこそが、私たちの責務です。

公明党市議団は責任感をもって、これからも福祉、防災、子育て支援、物価高対策などの重要課題に全力で取り組んでまいります。

引き続き、市民の皆さまの声を市政に届け、「誰ひとり取り残さない名古屋」の実現に向けて、邁進してまいります。

令和7年 団長 木下 優



主な内容

- 6月定例会個人質問から実績
- 「結婚新生活支援事業」
- 「高等学校等給付型入学支援金」
- 公明党名古屋市委員団紹介

法律
相談

法律相談予約はこちらまで
TEL052-972-2051

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

公明党名古屋市委員団ホームページ
<http://www.komeinagoya.jp/>



障害福祉サービスの人材不足解消について質問！

福祉サービスを担う人材の確保・育成は喫緊の課題です。「障害福祉の仕事フェア」に、より多くの若年層が参加しやすい工夫とともに、名古屋市が定める障害福祉サービスの報酬等の改定を求めました。

市からは、若年層が参加しやすくなるよう大学や専門学校等と連携しながら具体的に施策を進めていくこととともに、報酬等の改定に関しても前向きな答弁を引き出しました。



本会議中継動画

「搾乳マーク」の周知と導入について質問！

外出時に搾乳できる場所があり、そのことが明示されていることや周りの方々が搾乳の必要性を理解していることは、搾乳が必要な方々にとっての安心だけでなく、社会参加や就労復帰にもつながるものと考えられます。

公共施設や民間施設において、搾乳マークの導入を推進していくことを求め、市からは「速やかに周知と導入を進める」との答弁を引き出しました。



本会議中継動画

児童相談所及び一時保護所の環境整備について質問！

児童虐待相談件数は以前と比べて増えており、ここ数年間は高止まりの状況です。一時保護件数も高止まりで入所率も高い割合が続いていますが、本市の一時保護所は個室化がされておらず、子どもの成長において望ましい環境になっていないこと、また職員の執務環境改善も必要であることを指摘し、環境改善を求めました。

市長より、一時保護所の個室化及び職員の執務環境改善は重要であり、子どもの最善の利益が守られるよう、改善に向けた一定の方針を今年度中に立てるとの答弁がありました。



本会議中継動画

高齢者日常生活支援研修の充実について質問！

生活支援型訪問サービス提供の担い手育成として高齢者日常生活支援研修を行っています。しかし、研修終了後に実際に従事する方は非常に少ないのが現状です。従事は希望しなくても何らかの形で介護に関わりたい方がいらっしゃることを指摘し、従事の不安を解消するための相談窓口の設置や研修内において介護分野で活躍できるための幅広い選択肢を紹介することを求めました。

市からは研修者に対する相談窓口の設置を検討すること及び研修内で様々な情報を案内するとの答弁がありました。



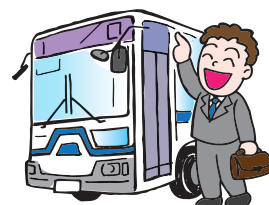
本会議中継動画

千音寺土地区画整理事業に伴う市バス路線の拡充について質問！

千音寺土地区画整理事業に伴い、大規模商業施設が開業し、道路が開通したことによる富田巡回系統の経路の見直しについて質問しました。

市からは安全な経路確保の課題解消に向けて取り組むとともに、経路の見直しを検討するとの答弁がありました。

また、地下鉄中村公園駅へ接続するバス路線についても当該地域の利便性向上の観点からも整備の必要性について質問しました。



本会議中継動画

市からは住宅開発や人口増加などの需要動向を踏まえ、地下鉄中村公園駅へ接続するバス路線について検討するとの答弁がありました。

アジア・アジアパラ競技大会を契機とした多文化共生都市の実現に向けた取組について質問！

アジア各国などから多くの選手や観戦客が訪れるアジア・アジアパラ競技大会の開催を、外国人住民が増加傾向にある本市の多文化共生都市の実現に、どのように活かしていくのか伺いました。

市からは「名古屋をはじめ日本やアジアの魅力に触れて頂くとともに、文化体験や競技体験等を通じて交流する場の設置を検討し、市民と選手等が交流できる機会についても調整を進め、国籍など異なる人々が共にしあわせに生きていくことができるまちとして発展していくよう取り組む」とともに、「来年度、次期多文化共生推進プランの策定に当たり、大会がレガシーの一つになるよう努める」と回答がありました。



本会議中継動画

家庭教育支援施策の充実について質問！

本市は家庭教育セミナーや親学講座などの取り組みを進めてきたものの、不登校やひきこもり、児童虐待など年々増加傾向にあることから、今後は、不安や悩みを抱える子育て世帯に対して、より直接的・個別的に関わる仕組みの整備が重要と指摘し、国が進める「家庭教育支援チーム」の登録推進や、アウトリーチ型支援に向けた福祉局との連携など支援の充実をどう図っていくのか伺いました。

市からは「福祉局との連携を含め、地域全体で家庭教育を支える体制づくりに



本会議中継動画

向け、地域やNPOなどと協力し、一層の家庭教育支援の充実に取り組む」と回答がありました。

なごやめし給食廃止と市長の政治姿勢を質問！

公明党が実現した小学校の「なごやめし給食」が令和7年度は実施されないことが決まっています。市長に「どのような手順を踏んで意思決定したか」「子どもたちの声を聞いたか」を質するとともに、教育長には「なごやめし給食の目的と効果そして子どもたちの評価」を、子ども青少年局長には「子どもの権利を尊重する市の姿勢」を聞きました。子ども達からは「また食べたい」との声が多かったことや、市の子ども施策を変える場合は子どもの意見を聞くべきとの答弁があり、今回の市長の子どもへの配慮に欠けた対応について猛省を促しました。



本会議中継動画

盲導犬サーブと身体障害者補助犬について質問！

名古屋に所縁の深い「盲導犬サーブ」の銅像が作られて2026年で40周年を迎えるにあたり、身を挺して全盲の主人を交通事故からかばったサーブの勇気と優しさそして献身的行動を思い返しながら、改めてサーブや身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)についての周知啓発や学校教育で学ぶことを提案しました。教育長からは子ども達の1人1台端末で利用できる学習教材を作成するとの答弁があり、市長からはアジア・パラ競技大会に合わせて2026年に身体障害者補助犬の啓発イベントを開催するとの考えが示されました。



本会議中継動画

実績

新しい生活を応援する制度がはじまりました！

『名古屋市結婚新生活支援事業』

結婚を考えるうえで、様々な費用のことを心配される方は多いと思います。そんな心配が少しでも解消されるように住居費や引っ越し費用(最大60万円)などを助成する制度が今年度から始まりました。

公明党市議団は令和6年9月定例会で支援事業について提案しました。

対象の方

- 令和7年1月1日～令和8年3月31日の間に新たに婚姻した夫婦又はファミリーシップ宣誓をした方

- 婚姻日等における年齢が、夫婦等ともに39歳以下であること

- 令和6年中の夫婦等の合計所得が500万円未満であることなど

お問い合わせ

名古屋市結婚新生活支援事業問い合わせ窓口

TEL:052-766-5070

[平日9:00～17:30、土日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く]



詳しくはこちら
をご覧ください。

『名古屋市高等学校等入学支援金』

高校の進学先が決定した後、制服の購入など入学準備にかかる費用は少なくありません。

公明党名古屋市議団の提案で誕生した高校入学準備金の開始から20年。本会議質問にてこれまでの貸与型を改め、返済不要の給付型への改定を再提案。来年度新入生にひとり7万円を給付する入学支援金制度としてスタートします。



対象の方

- 収入目安590万円未満(4人世帯の場合)愛知県内の中学校に在学している市内在住の中学3年生等で、愛知県内の高等学校等へ入学される方など。

お問い合わせ

名古屋市教育委員会学事課

TEL:052-972-3278

[平日午前9:00～午後5:15]



詳しくはこちら
をご覧ください。

KOMEI NAGOYA 公明党名古屋市議員団

金庭 宜雄



顧問 守山区

都市消防委員会
都市活力向上特別委員会

長谷川 由美子



顧問 北区

経済水道委員会
防災・エネルギー特別委員会

木下 優



団長 中川区

土木交通委員会(副委員長)
産業・歴史文化・観光戦略特別委員会

田辺 雄一



副団長 千種区

都市消防委員会(委員長)
安心・安全なまちづくり対策特別委員会

近藤 和博



幹事長 緑区

教育子ども委員会
防災・エネルギー特別委員会

さかい 大輔



政調会長 南区

財政福祉委員会
安心・安全なまちづくり対策特別委員会
(委員長)

吉岡 正修



副幹事長兼財務委員長 港区

経済水道委員会(副委員長)
公社対策特別委員会

おか 千恵



幹事兼副財務委員長 中川区

教育子ども委員会
産業・歴史文化・観光戦略特別委員会
(副委員長)

辻ま さお



広報委員長 天白区

土木交通委員会
公社対策特別委員会

月森 たくや



副政調会長 中川区

総務環境委員会
都市活力向上特別委員会

中村 しゅへい



副広報委員長 名東区

財政福祉委員会
大都市制度・広域連携促進特別委員会
(副委員長)

さわだ 晃一



副議長 西区

総務環境委員会
大都市制度・広域連携促進特別委員会